

## 森林環境譲与税の用途について

### 森林環境税および森林環境譲与税

森林には、人々の暮らしに役立つ様々な役割があります。例えば木々は二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防ぐとともに、酸素を作り出します。森の土は雨を染みこませて水を蓄え、洪水や土砂災害を防いでくれます。また森はたくさんの動物のすみかになり、生物多様性を維持してくれます。このような森林の有益な役割を「森林の公益的機能」と言います。

森林が公益的機能を発揮するには、その森が健全でなければなりません。ところが近年、木材価格の低下から、適時に森林整備を行うことが困難な森林所有者や、所有者不明森林が増加、さらに森林整備の担い手不足もあって、公益的機能が十分に発揮されない森林が増えています。

森林の公益的機能の恩恵は広く国民全体が受けることから、森林整備のための財源として、平成31年4月に森林環境税および森林環境譲与税が創設されました。森林環境譲与税は市町村に配分され、五條市はこれを利用した森林整備等を行っていきます。

### 当市の方針

当市では、森林環境譲与税を受け入れるため、令和元年9月、五條市森林環境基金条例を制定しました。今後はこの基金を財源とし、施業放置林等に対する森林整備、木材利用の促進や普及啓発、森林整備を行う人材の育成などを行っていきます。

### これまでの譲与税の用途と令和4年度以降の取組

当市ではこれまで、施業放置林整備等の間伐や作業道整備等の森林整備、林業に係る担い手育成、市内の小学校においての森林環境教育体験学習推進事業及び乳幼児に対する木製品等の贈呈を行ってきました。

令和4年度以降は、これらの用途に加え、災害被災森林の整備等の更なる森林整備の実施及び木材利用の推進を推し進めていきたいと思えます。

### 令和4年度の森林環境譲与税使途

事業名	事業内容	事業費（千円）
五條市森林整備事業	市内の森林に対して間伐及び作業道整備等の森林整備、市で管理している林地台帳の一部の改修作業及びそれに係るPC等の整備、市内の林業事業体に対する担い手育成等を実施しました。	24,291

木育事業「もくもくスタート」	市内の木工工房で手作りされたオリジナルの木製椅子を12か月児にプレゼントすることで、木とふれあい、木製品の良さを体感し親子で森林の大切さを考える機会としました。	800
小学校「夢・志」教育プラン具現化事業	五條市教育振興基本計画に示された「夢・志」教育プランの具現化に向けた事業の一つとして、森林環境教育体験学習推進事業を行いました。	47
認定こども園整備事業費	こども園で木製ベビーチェアを使用することにより、子どもたちが木の温もりにふれ、子どもの頃からその良さを体感し、「木育」を推進しました。	300
子供用木製椅子製作	オリジナルの木製椅子を作成し、幼少期から木とふれあい、木製品の良さを体感してもらうことができました。	24
備品購入（木製ベンチ）	県産材の木製椅子を購入し、来庁者の方が木とふれあい、木製品の良さを体感してもらうことができました。	179
新庁舎竣工式配付用記念品作成業務委託	本来であれば、利用することのできない市内の桧の葉を原料とした、除菌・消臭剤を作成し、新庁舎竣工記念品として配布することにより、未使用の林地残物の利用により、持続可能な森林として森育の推進を広く知っていただくことができました。	480
基金積み立て	森林整備等に必要な資金として積み立てを行いました。	41,372
合計 67,493 千円		